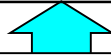


1 全体計画



**令和元年度 目指す学校像**

- 社会科生活科の基本的なルール、人権尊重の理念及び豊かな心を身に付けた子どもを育成する学校
- 確かな学力の定着と向上を図り生涯にわたり、主体的に学び続ける子どもを育成する学校
- 生涯にわたって運動に親しむ意欲や能力の育成と健康・安全に関する知識を身に付けた子どもを育成する学校

**本校のとらえる「確かな学力」**

児童が自ら課題を見つけ追究し、知識と知恵を身に付け解決する力

**令和元年度の指導の重点**

**<各教科>**

基礎的・基本的な内容の定着を図る。  
児童相互による学び合いや言語活動を充実させ思考力・表現力を高める。

**<特別の教科道徳>**

親切,思いやりの精神を基盤にすえる。

**重点** 全学年：親切,思いやり

**<特別活動>**

望ましい人間関係の形成のために多様な集団による教育活動を実施する。

**多様な集団** 兄弟学年での活動  
地域班での活動

**<総合的な学習の時間>**

自然とのかかわり、人とかかわりをテーマとした問題解決的・体験的な学習を推進する。

**<生活指導>**

いじめ不登校に組織的に対応する。  
学校のきまりを全職員で徹底する。  
SNS学校ルールを徹底する。

いじめ対策チームによる定期的な情報交換を行う。

**<進路指導>**

一人ひとりの個性を大切にし、自尊感情を育てるキャリア教育の推進をする。

**授業改善の視点**

<p>指導内容・指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の学力調査の結果を前年度の担任を中心に分析し、指導に活かす。</li> <li>・児童が身に付けた知識・技能を活用する能力を育成する。</li> </ul>	<p>教育課程編成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の授業時数を確保し、ゆとりある学習活動を展開する。</li> <li>・環境や人材を活かした体験的な活動を充実させる。</li> </ul>	<p>評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、保護者・教師相互による授業評価を取り入れ、より分かりやすく楽しい授業を創造する。</li> <li>・評価を活かした授業づくりを行う。</li> </ul>	<p>校内研究・研修の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の研究授業、初任者、2、3年次研修、自己申告等で教員同士が授業を見合える機会を確保する。</li> </ul>	<p>家庭・地域との連携の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣を確立させる。</li> <li>・あいさつ、返事の徹底(年間2回のあいさつカードの活用)をさせる。</li> </ul>
---	--	--	--	--

# 1年 授業改善プラン

(教科) 国語科

## ○児童の実態

- ・学習への意欲はあるが、教師の話や友達の発言を集中して聞くことができない児童が多い。
- ・まだ文章を読むことに慣れておらず、読むことに抵抗がある児童や、文字だけを読んで内容を理解することを苦手とする児童が多い。
- ・話すことが好きな児童は多いが、場に応じて声の大きさや速さなどの話し方の工夫をしたり、友達の話をよく聞いて質問や感想を伝えるなどして話し合いをつなげたりすることができる児童は少ない。
- ・長音・拗音、促音、撥音などの表記や、助詞の“は・を・へ”の使い方について理解がまだ定着していない児童が多く見られる。
- ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができていない児童が数人見られる。

## ○授業改善の視点

- ・読み聞かせをしたり、発表を聞く場面を増やしたりする活動を通して、人の話を聞く態度を身に付けさせる。
- ・文章を読んだり書いたりする学習活動を日常的に取り入れる。
- ・1対1やグループでの話し合いを通して、自分の意見の伝え方や友達の発表を聞くときのポイントなどを指導していく。
- ・拗音、促音、撥音などは、日常生活科の中でも繰り返し使い定着を図る。また、文章の指導の際は、モデル文など、表現の仕方を提示する。絵日記や短作文など、自分の考えや経験したことを文章に表現する機会を取り入れる。
- ・姿勢や筆記用具の持ち方を意識させて字形を整えて丁寧に書くように指導する。

(教科) 算数科

## ○児童の実態

- ・数への興味が強い児童は多いが、教師の話や友達の考えを集中して聞けない児童が多い。
- ・「たし算」や「ひき算」など基礎的な計算の仕方は理解している児童が多い。解くスピードの個人差は大きい。
- ・問題の意味がわからなくて答え方を間違えたり、文章問題の意味が読み取れなかったりする児童が多い。
- ・問題を解くことはできるが、「のこりは」や「あわせて」など自分で言葉を入れて問題を作ることは苦手な児童が多い。

## ○授業改善の視点

- ・児童の実態に合った習熟度別のコース分けを行い、個に応じた指導を適切に行えるようにする。
- ・視覚的資料を提示したり、電子黒板を使って児童のノートやブロックの操作の様子を写したりして、児童が意欲をもって集中して取り組めるような授業を行う。
- ・「たし算」や「ひき算」などの基本的な計算は繰り返しかえし日常的に行い、ブロックや指を使わなくても計算が素早くできるようにする。
- ・文章問題を解く際には、文章と絵や図を結び付けて考え、問題の意味を理解させるようにする。

## 2年 授業改善プラン

(教科) 国語科

### ○児童の実態

- ・国語の授業で手を挙げて発言する児童が少ない。
- ・字を丁寧に書く児童が多い。自分の感じたことを短い言葉で表現できる。一方、文章の書き出しに時間のかかる児童がいる。また、書く量や内容には個人差がある。
- ・漢字の書き取りや言葉の知識にも個人差が大きい。

### ○授業改善の視点

- ・児童の興味・関心が引きつけられるように授業の流れを工夫する。また、どの児童も主体的に学ぶことができるような授業展開にしていく。また、自分の考えを自信をもって発信できるように小グループでの学習を多く取り入れる。
- ・基礎的な知識・技能の定着を図る。間違えたところを直す習慣を身につけさせる。
- ・事柄の説明や経験を報告する文を書いたり、それらを読んで感想を述べたりする活動を多く取り入れる。
- ・学習の内容に即した読み聞かせを行うなど、本に親しむきっかけをつくる。また、読書の時間を確保する。

(教科) 算数科

### ○児童の実態

- ・数と計算の領域は、おおよそ習得しているが、問題を解く速さには差がある。
- ・基礎的な力はある児童が多いが、活用問題になると問題の意図が読み取れない児童が多い。
- ・「かたち」「とけい」の学習の習得が十分でない児童が多い。

### ○授業改善の視点

- ・少人数指導を生かし、習熟度別に児童の実態に合わせた課題提示や授業展開を行う。
- ・図や絵を活用することで、具体的な場面を想像して問題に取り組ませるようにする。
- ・時計や長さの学習では具体物や半具体物を準備し、実際に操作する活動を取り扱う。
- ・文章問題では、児童の考えに沿い、解答に至る過程を重視した指導を行っていく。

## 3年 授業改善プラン

(国語)

### ○児童の実態

- ・学習意欲はあるが、集中して物事に取り組むことが難しい児童もいる。
- ・事柄の順序を考えながら話す力や、大事なことを落とさないように聞く力は十分でない。
- ・文章の書き出しに時間のかかる児童がいる。
- ・漢字の書き取りや言葉の知識はある。

### ○授業改善の視点

- ・目的意識をもち、相手に伝わるような話し方を身に付けさせるようにする。また、日頃から授業の中で友達と1対1やグループで伝え合う学習を多く取り入れる。
- ・「話す・聞く」の領域の単元では、話し手が発表をする際に、相手の意図を考えながら聞き、自分との共通点や差異点をメモする活動を取り入れる。

(算数科)

### ○児童の実態

- ・学習意欲が高く、進んで問題に取り組む児童が多い。
- ・学習の定着には個人差があり、個別支援が必要な児童や学習内容を工夫する必要がある児童がいる。
- ・計算は得意だが、文章題になると読み取りができず、つまづく児童がいる。

### ○授業改善の視点

- ・区の目標値を上回る児童の割合はどの観点でも高いが、個人差が大きい。個に応じた指導を行う。
- ・基礎的な学力は十分に身に付いている児童が多いので、自分の考えをまとめたり、友達の考えを聞いて深めたりできるような授業を行う。

## 3年 授業改善プラン

(教科) 社会科

### ○児童の実態

- ・初めての社会科の学習に興味をもち、学校のまわりや中野区の様子について意欲的に学習している。また、町探検や社会科見学では地形の様子や土地の使われ方など見学のポイントを意識しながら調べることができている。
- ・調べたことを白地図にまとめる学習では、自分たちで考えた地図記号を使って、グループごとにビッグマップを作ることができる等、調べまとめる力が身に付いている。
- ・四方位を活用して考えることに慣れていない児童が多く、立ち位置や自分の向いている方向が変わると、方角がわからなくなる児童もいる。

### ○授業改善の視点

- ・単元のはじめに学習問題を作り、学習計画を立て、問題解決的な学習の流れに沿って授業を進めていく。
- ・学習の課題を明確にし、見通しをもって調べたり考えたりできるようにする。また、調べたことや考えたことを、表や図、白地図などにまとめたり、紹介したりして表現する力を養う。
- ・調査の場面や地図を使う場面で、繰り返し四方位を意識させるようにする。

(教科) 理科

### ○児童の実態

- ・毎単元、問題解決の流れで学習を進めている。学習の流れが定着できている。
- ・児童に親しみのある身近な自然事象が多く、興味関心をもって意欲的に学習に取り組んでいる。
- ・色・形・大きさについて観察し、記録できる児童は多いが、変化を比較しながら記録できる児童は少ない。

### ○授業改善の視点

- ・見通しをもった問題解決の活動を工夫する。子どもが常に学習段階を意識できるようにカードで学習の順序を示す。
- ・観察・実験をする前に、視点を示し、意識をもって観察できるようにする。
- ・自然の事物・現象の差異点や共通点に気付いたり、比較したりする活動を通して、科学的な見方や考え方を養う。

## 4年 授業改善プラン

(国語科)

### ○児童の実態

- ・ 物語文・説明文をはじめとする文章の読み取りが得意な児童多い。
- ・ 読書習慣が身に付いている児童が多く、集中して読書ができる。
- ・ 漢字の読み書きを苦手とする児童が多い。

### ○授業改善の視点

- ・ 「話す・聞く」は、相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力を身に付けさせる。丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すことを意識させる。
- ・ 「言語理解」においては、漢字の読み書きなど繰り返し指導するとともに、課題の細かな添削・見直しの徹底を図る。

(算数科)

### ○児童の実態

- ・ 学習意欲が高く、進んで問題に取り組む児童が多い。
- ・ 計算は、前学年に学習したことが定着している。
- ・ 多様な考え方で問題を解き、ノートに自分の考えを書ける児童が多い。
- ・ ほとんどの児童がかけ算九九などの基礎を身につけているが、忘れていた児童もいる。

### ○授業改善の視点

- ・ 少人数指導を生かし、習熟度別に児童の実態に合わせた課題提示や授業展開を行う。
- ・ 理解が不十分な児童には、個別指導を行い、算数の基礎・基本の習熟を図る。
- ・ 計算の意味や計算の仕方を言葉、数、式、図を用いたりして考え、筋道を立てて自分の考えを説明する活動を取り入れる。

## 4年 授業改善プラン

(教科) 社会科

### ○児童の実態

- ・単元のはじめに学習問題を作り、学習計画を立て、問題解決的な学習の流れに沿って授業を進めることができている。
- ・消防や警察の仕事など、身の回りの出来事に興味をもって学習に取り組んでいる。
- ・調べる学習では、地図や写真やグラフなどの資料を読み取り、気付いたことや疑問を話し合っている。
- ・「くらしをささえる水」の学習後には、「水を大切に使おう」と考えるなど、自分たちの生活での関わりを考えることができている。

### ○授業改善の視点

- ・調査活動や地図帳、グラフや写真などの資料にたくさんふれ、その見方に慣れるようにし、必要な情報を調べることができるようにする。
- ・見学やゲストティーチャーなど、働く人と触れ合う機会を増やし、さらに興味をもって取り組めるようにする。
- ・地域社会についての理解を深め、共に努力し、協力しようとする意識をさらに高められるようにする。

(教科) 理科

### ○児童の実態

- ・毎単元、問題解決の流れで学習を進めている。学習の流れが定着できている。
- ・自然の事物・現象の変化に着目し、興味関心をもって意欲的に学習に取り組んでいる。
- ・観察の記録や実験の結果を表やグラフにまとめることができる児童が多い。
- ・生活経験が豊かな児童と乏しい児童の差が大きく、問題の予想を考えることが難しい児童も多くみられる。
- ・人の体のつくりと運動では、筋肉の伸縮の動きなど、どこが変化しているのか捉えることが難しい児童が多く見られた。

### ○授業改善の視点

- ・実験や観察などの体験を通じた学習を増やすことで、イメージしにくい単元でも動きや変化、共通点などを捉えられるようにする。
- ・単元の授業の前に、生活経験を補うような体験をさせ、問題の予想を考えることができるようにする。

## 5年 授業改善プラン

(国語科)

### ○児童の実態

- ・読書習慣が身に付いている児童が多く、集中して読書ができる。
- ・物語を読み取る授業では、自分の考えや友達の考えを聞き、より読みを深めることができている。
- ・発表の内容を正確に聞き取ったり、資料と話し合いを関連付けて考えたりすることを苦手とする児童が多い。
- ・漢字の読み・書き取りの反復練習については意欲的に取り組む児童が少なく、苦手意識がある児童が多い。
- ・指示語について理解し、正しく使うことが苦手な児童が多い。

### ○授業改善の視点

- ・国語の学習を通して、「できた」、「わかった」などの達成感をもてるように授業を工夫する。
- ・「話す・聞く」の学習では、聞く前に話の要点やメモをとるポイントを指導してから、活動に取り組めるようにする。また、活動の後に振り返りの時間をもつ。
- ・漢字や言語の正しい読み方・書き方を指導し、日々の生活の中でも分からない言葉の意味を調べさせる習慣を身に付けさせ、正しく使えるようにその都度指導する。

(算数科)

### ○児童の実態

- ・図形に対する技能はおおむね習得している児童が多い。しかし、垂直や平行な直線を調べたり、角の大きさを計算で求めたりするなど、習得した知識や技能を活用して考える問題を苦手としている児童も見られる。
- ・小数や分数の計算、がい数などの「数と計算」の領域では、前学年に学習したことの定着が不十分で、復習が必要な児童もいる。
- ・式の意味を説明したり文章問題を読み解いたりすることを苦手としている児童も多い。
- ・理解力・思考力の個人差が大きい。

### ○授業改善の視点

- ・小数や分数の計算、がい数などの「数と計算」の領域では、既習事項を振り返り、基礎・基本を確実に身に付けてから指導する。
- ・文章問題では、ただ答えを求めるだけでなく、答えに至るまでの考え方も重視した指導を行っていく。
- ・必要な児童には個別指導を行い、きめ細やかな指導を行い、基礎・基本の定着を図る。



## 5年 授業改善プラン

(教科) 社会科

### ○児童の実態

- ・日本の地形や気候の特徴や産業について興味をもって学習に取り組んでいる。
- ・国土の地形の特徴と、食料品の産地である農業の盛んな地域の様子とを結び付けて考えるなど、これまで学習した内容と新たに獲得した知識を関連付けて、出来事の意味を考えようとする児童が多い。
- ・「くらしを支える食料生産」の学習の後に、給食の献立や家庭科の調理実習で使用する食材を見て、米や野菜、果物などの産地を調べたり、味をたしかめたり、と学習したことが自然と生活に生かされている。
- ・資料やグラフの読み取りの経験が乏しい。複数の情報を読み取ることが苦手である。

### ○授業改善の視点

- ・授業の導入では児童の疑問をもとに学習問題を立てて、児童が単元の見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- ・資料の見方やグラフの読み取り方を確認してから読み取らせ、全体でその都度指導する。
- ・調べたことや考えたことを子供たち同士で交流し合う場面を設定し、自分の考えをもったり、それをわかりやすく説明したりする機会を増やす。

(教科) 理科

### ○児童の実態

- ・意欲的に実験や観察に取り組む児童が多い。
- ・問題解決の学習の流れに慣れ、見通しをもって学習できる児童が多い。
- ・自分の知っている知識や生活体験を想起し、関連付けて予想を立て、グループで協力して安全に実施することができている。
- ・予想を確かめるための実験計画を立案する機会が授業において少なく、実験計画を立てる経験が乏しい。

### ○授業改善の視点

- ・「問題設定→予想・仮説→観察・実験→結果→考察→結論」の流れの授業を年間を通じて行い、児童に学習の見通しをもたせ、指導の充実を図ることを継続する。また、理科における身に付けさせたい考え方の重点（条件制御）を意識して指導する。
- ・実験計画を児童が考え、それをもとに学習が進められるような指導を行う。
- ・グループで共有する中で考え・予想に自信をもって発表できるようにする。

## 6年 授業改善プラン

(国語科)

### ○児童の実態

- ・読書を好み、朝読書や図書時間に読んで本を読む児童が多い。
- ・物語を読み取る授業では、叙述に沿って登場人物の気持ちを読み取ることができるが、自分の考えを伝えられたり、文章に表したりすることができる児童は少ない。
- ・漢字の読み・書きについては、ミニテストにおいて、習熟度の差がみられる。
- ・主語、述語、修飾語の意味についての指導が不十分であった。

### ○授業改善の視点

- ・ペア学習や班学習を取り入れ、少人数の中で自分の考えを自信をもって伝えられるようにする。考えの交流を通して叙述に対して正確な読み取りができるようにする。
- ・「書く」前には、見本文を丁寧に読み取らせ、文章の構成例、使いたい表現等、を掴ませる。また、推敲を必ず行い、自分や友だちどうして意図に沿った作文になっているか確認させる。
- ・言語事項に関しては、「漢字の広場」の単元でよく復習をするようにする。

(算数科)

### ○児童の実態

- ・多様な視点で問題の解決に取り組むことができる児童が多い。一方、他の児童の考えと自分の考えを比べてよりよい解決方法を考え、別の場面に生かしていくことまではできない児童が多い。
- ・分数や小数などの計算の技能の定着には課題が残る。
- ・式の意味を説明したり文章問題を読み解いたりすることを苦手としている児童も多い。
- ・理解力・思考力の個人差が大きい。

### ○授業改善の視点

- ・習熟度別学習の利点を生かし、個に応じた学習内容・学習計画を明確にして丁寧な指導を進める。(発展問題や補充問題などの個に応じた教材を用意する。)
- ・既習事項が確実に身に付いているか「単元の関連」も確認しながら指導し、小学校の学習内容の確実な習得を目指す。必要な場合は、学年を超えて立ち戻る指導を行う。
- ・思考力を高め、考えを表現できるような授業の工夫をする。(時間・場の確保) また、自ら獲得した知識を適用して解く問題を準備する。

(社会科)

○児童の実態

- ・社会科の授業には意欲的に取り組み、資料から気付いたことを活発に発言する児童が多い。
- ・思いついたことを発言する児童が多い反面、一つの事象を多面的に捉えたり、事実の意味を深く考えたりすることに課題がある。
- ・グラフや写真などの資料から事実を読み取ることができる。文章資料の読み取りの力には個人差がある。
- ・社会科の問題解決型の学習過程は児童の中で定着している。

○授業改善の視点

- ・児童の関心・意欲を育てるため、つかむところでの資料提示を工夫する。問題意識を引き出す。また、デジタル教材を視聴し、視覚的に分かりやすい授業を行う。
- ・実物やレプリカ、写真等を提示し、実感を伴って理解できるようにする。
- ・なぜそのようなことが行われたか等を考え、社会の一員としての意識を高める。
- ・調べたことから、必要な情報を収集・整理し、自分の考えをまとめたり、伝え合ったりする活動を繰り返していく。
- ・新聞などの作品を作成するときに、キーワードとなる社会的用語を使うように指導し、知識の定着につなげていく。

(理科)

○児童の実態

- ・条件を制御した実験計画を考え、実験ができる児童が多い。
- ・グループでの実験は、問題を自分ごととして捉えられない児童において、ただ見るだけになってしまっている場合もある。
- ・問題解決の学習の流れには慣れ、見通しをもって学習できる。ノートも図や絵を活用し学習の流れに沿って書くことができている。

○授業改善の視点

- ・導入での科学的事象に対する気付きや疑問をもとに、児童の意欲的な探求意欲をしっかりとたせた上で単元学習に入ることを意識する。
- ・植物や動物などの生物に関する学習では、実物をじっくり観察したり他のものと比べたりする具体的な体験を重視し、一般的な知識だけで終わらないようにする。
- ・実験結果を一般化し、科学的真理として結論づける段階の指導を重視し、正しい科学的知識の定着をはかるとともに、生活の中の事象につなげる。

## 令和元年度 授業改善プラン (音楽科)

学年	児童の実態	身に付けさせたい力	授業改善
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き取ったことを体の動きで表すなどして音楽を聴いたり、明るい歌声で歌ったりする活動に楽しく取り組んでいる。</li> <li>・拍にのって鍵盤ハーモニカや身近な楽器に興味をもって演奏したり、リズムを体で表現したりしている。</li> <li>・技能面で個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の情景や歌詞の心情を知り、どのように表現したいか、思いをもつ。</li> <li>・拍にのって、歌ったり演奏したりする。</li> <li>・鍵盤ハーモニカなどの身近な楽器に親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴に気付くようにするため、体を動かす活動を取り入れ、聴き取ったことを話し合うなどして楽曲の楽しさやよさに気付くようにする。</li> <li>・身近な楽器に触れる活動を取り入れ、音を合わせて演奏する楽しさを味わうようにする。</li> <li>・必要に応じて個別に鍵盤ハーモニカの補充指導を行い、技能の伸長を図る。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き取ったことを体の動きで表すなどして音楽を聴いたり、明るい歌声で歌ったりする活動に楽しく取り組んでいる。</li> <li>・拍にのって鍵盤ハーモニカや身近な楽器に興味をもって演奏したり、リズムを体で表現したりしている。</li> <li>・技能面で個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話や友だちの発言・発表を最後までよく聴く。</li> <li>・楽曲の特徴やよさに気付く、どのように演奏したらよいか思いをもつ。</li> <li>・鍵盤ハーモニカで運指や息遣いに気を付けて、簡単な旋律を演奏する。</li> <li>・互いの歌声や音をよく聴き、拍にのって歌ったり演奏したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のルールを分かりやすく伝え、手本となる児童を価値付け、指導の徹底を図る。</li> <li>・音楽の特徴に気付くようにするため、体を動かす活動を取り入れ、聴き取ったことを話し合うなどして楽曲の楽しさやよさに気付くようにする。</li> <li>・身近な楽器を積極的に活用し、音を合わせて演奏する楽しさを味わうようにする。</li> <li>・必要に応じて個別に鍵盤ハーモニカの補充指導を行い、技能の伸長を図る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴を体の動きで表すなどして楽曲を聴いたり、明るく伸びやかな歌声で歌ったりする活動に進んで取り組んでいる。</li> <li>・リコーダーや身近な楽器の奏法を理解して拍にのって合わせて演奏したり、リズムや旋律をつくり自分の思いを生かして表現したりしている。</li> <li>・技能面で個人差が見られるが、助け合い、協力して学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい響きのある歌声で歌う。</li> <li>・リコーダーの奏法に慣れ、正しい指遣いやタンギングができるようにする。</li> <li>・楽曲の特徴やよさに気付く、どのように演奏したらよいか思いや意図をもつ。</li> <li>・演奏できるようになるまでくり返し練習するなど、粘り強く学習に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの演奏を聴き合う場を設け、自分との違いやよさに気付く、自分の表現に生かせるようにする。</li> <li>・音楽の特徴に気付くようにするため、体を動かす活動を取り入れ、楽曲の楽しさやよさに気付くようにして、表現への思いや意図をもてるようにする。</li> <li>・必要に応じて個別にリコーダーや鍵盤ハーモニカの補充指導を行い、技能の伸長を図る。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴を体の動きで表すなどして楽曲を聴いたり、明るく伸びやかな歌声で歌ったり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく豊かな響きの歌声で歌う。</li> <li>・楽曲の特徴やよさに気付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱や範奏を視聴し、体の使い方を学び、自分たちの表現を記録して振り返ることにより違いに気付く、よい表現</li> </ul>

<p>年</p>	<p>する活動に進んで取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の奏法を理解して楽曲に合う表現で演奏したり、リズムや旋律をつくり自分の思いを生かして表現したりしている。</li> <li>・技能面で個人差が見られるが、助け合い、協力して学習を進めることができる。</li> </ul>	<p>き、どのように演奏したらよいか思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏できるようになるまでくり返し練習するなど、粘り強く学習に取り組む。</li> </ul>	<p>のイメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態から学習のねらいに合う教材を精選し、合唱に慣れ様々な楽器を使つての合奏など、表現体験を広げる。</li> <li>・必要に応じて個別にリコーダーや鍵盤ハーモニカの補充指導を行い、技能の伸長を図る。</li> </ul>
<p>5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴を言葉で伝え合い体の動きで表すなどして楽曲を聴いたり、意欲的に歌ったり演奏したりして進んで学習に取り組んでいる。</li> <li>・楽器の奏法を理解して楽曲に合う表現で演奏したり、リズムや旋律をつくり自分の思いを生かして表現したりしている。</li> <li>・技能面で個人差が見られるが、助け合い、協力して学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話や友だちの発言・発表を最後までよく聴く。</li> <li>・響きの豊かな歌声での発声、発音、音程やリズムに気を付けて歌うこと。</li> <li>・互いの音や表現をよく聴いて、どのように表現したいのか思いや意図をもち、曲想に合った表現を工夫すること。</li> <li>・演奏できるようになるまでくり返し練習するなど、粘り強く学習に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のルールを分かりやすく伝え、手本となる児童を価値付け、指導の徹底を図る。</li> <li>・範唱や範奏を視聴し、体の使い方を学び、自分たちの表現を記録して振り返ることにより違いに気付き、よい表現のイメージをもつ。</li> <li>・互いの演奏を聴き合う場を設け、自分との違いやよさに気付き、自分の表現に生かせるようにする。</li> <li>・必要に応じて個別にリコーダーや鍵盤ハーモニカの補充指導を行い、技能の伸長を図る。</li> </ul>
<p>6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に歌う姿が多く見られ、身近な楽器を奏法に気を付けて合奏する学習に進んで取り組んでいる。</li> <li>・音楽の特徴を理解して音楽を聴き深めたり、互いの表現のよさに気付くよう集中して聴き合ったりすることが難しい。</li> <li>・苦手なことや、くり返し練習の必要な場面で最後まで粘り強く取り組むことが難しい児童も見られる。</li> <li>・学習への取り組みの姿勢や技能面での個人差が大きく見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話や友だちの発言・発表を最後までよく聴く。</li> <li>・響きの豊かな歌声での発声、発音、音程やリズムに気を付けて歌うこと。</li> <li>・互いの音や表現をよく聴いて、どのように表現したいのか思いや意図をもち、曲想に合った表現を工夫すること。</li> <li>・演奏できるようになるまでくり返し練習するなど、粘り強く学習に取り組む、協力して音楽活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のルールを分かりやすく伝え、手本となる児童を価値付け、指導の徹底を図る。</li> <li>・範唱や範奏を視聴し、体の使い方を学び、自分たちの表現を記録して振り返ることにより違いに気付き、よい表現のイメージをもつ。</li> <li>・互いの演奏を聴き合う場を設け、自分との違いやよさに気付き、自分の表現に生かせるようにする。</li> <li>・必要に応じて個別にリコーダーや鍵盤ハーモニカの補充指導を行い、技能の伸長を図る。</li> </ul>

## 授業改善プラン (図画工作科)

学年	児童の実態	身に付けさせたい力	授業改善
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>描いたりつくったりすることに、興味を持ち、意欲的に活動に取り組んでいる。</li> <li>一人では自信をもって、活動に取り組むことができない児童がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具を安全に扱う力。</li> <li>造形活動を楽しみ、全体を働かせて表現する力。</li> <li>自分の感覚や行為を通して、造形的な視点に気付く力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具の安全な使い方の定着を図る。</li> <li>様々な材料に触れさせ、造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して気付くことができるようにする。</li> <li>造形活動中に児童の活動を肯定する言葉かけを積極的に行い、児童が自信をもって活動できるようにする。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレヨンや絵の具をつかった作品作りや、造形あそびに意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>道具の使い方など技能的な面で個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具を安全に扱う力。</li> <li>感じたことや想像したことから見つけて表すこと。</li> <li>身の回りの作品から、自分の見方や感じ方を広げることができること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が表現活動を楽しめるよう造形あそびの活動を半期に2回は行う。</li> <li>作品をつくったり、他児童の作品を鑑賞したりするときに、自分なりに対象や事象を味わえるようにする。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある材料の面白さを感じたり、自分や友だちの作品を楽しみながら鑑賞したりすることができている。</li> <li>最後まで粘り強く取り組めない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具を安全に扱う力。</li> <li>自分の作品のよさや、友だちの作品のよさを見つけあい、認め合う力。</li> <li>進んで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組む、つくりだす喜びを味わえること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カッターやげんこのう等、道具の安全な使用方法の指導を丁寧に行う。</li> <li>授業内に鑑賞の活動を積極的に取り入れ、自他の作品のよさを見つけ、伝え合うことができるよう指導する。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>友人と交流し合いながら、意欲的に造形活動に取り組む児童が多い。</li> <li>作品について感じたことや思ったこと、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどを話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な材料や場所などを基に発想してつくる力。</li> <li>新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えられること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の活動や参考作品の提示を行い、魅力的な技法の紹介をするなど、児童の関心・意欲を高める。</li> <li>児童が主体的に造形的な活動に向かえるように、題材や材料を工夫し指導をする。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて扱う道具や彩色技法に対し、興味を持って意欲的に活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の表現方法の違いに気付きながら、自分の思いを表現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞活動では、自他の作品のよさを具体的に言語で表現できるように指導する。(ワークシート)</li> </ul>

年	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を丁寧に作る、最後までやりきる気持ちが育ってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>力。</li> <li>材料などの特徴をとらえ、様々な表し方を工夫する力。</li> <li>一人一人の児童が主体的に造形的な活動に向かえるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の活動を見取り、肯定的で発想を広げられる声掛けを行うことにより、技能的なつまづきを支援する。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>のこぎりや電動糸鋸、げんこうなど、危険を伴う道具の扱い方が身に付いている。</li> <li>自分の思いを表現し、最後まで丁寧に作品に取り組めない児童もいる。</li> <li>作品を仕上げる時間の個人差が大きくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のイメージに合わせ、試行錯誤しながら、使う道具や材料を工夫する力</li> <li>形や色、材料の特徴を生かし、どのように主題を表すかについて考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年間の既習事項を生かし、表現方法を児童自身が決めることのできる場の設定を行う。</li> <li>授業終了時に活動をふり返り、学習のめあてがどの程度達成できたかを確認させ、全体の見通しをもたせるようにする。</li> <li>多様な表現が可能な題材の工夫や、話し合い活動を通して、主題について自分のイメージを持てるよう働きかける。</li> </ul>

## 授業改善プラン（家庭科）

学年	児童の実態	身に付けさせたい力	授業改善
5年	<p>家庭科の学習に対する興味・関心が高く、実習など意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>調理や裁縫などの技能を要する学習では、生活経験が豊かな児童が多く、友達と教え合うことができる。</p>	<p>家族の一員としての自覚をもち、生活をよりよくするための工夫を継続的に実践しようとする力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で取り組んだことと家庭生活を結び付けるような学習活動の実施。</li> <li>調理や裁縫などの学習では、友達と教え合う時間や交流する時間を確保する。</li> </ul>
6年	<p>どの題材に対しても積極的に楽しんで取り組むことができる。特に調理実習や作品制作に関しては、興味をもち工夫することができる。</p> <p>栄養や生活の工夫など、実習ではない場面での意欲には個人差がある。</p> <p>調理や裁縫の技能には個人差がある。</p>	<p>自分の成長と家庭生活や家族の大切さに気づき、より良い生活を築いていこうとする力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した事と生活を結び付けるような働きかけを行う。</li> <li>調理や裁縫の技能には個人差がみられるため、練習時間を確保したり友達と協働的に作業したりできるようにする。</li> <li>生活を工夫する楽しさやものをつくる喜びを味わわせられるように、既習学習をもとに家庭でも実践できるような取り組みを学習活動の中で紹介する。</li> </ul>

## 授業改善プラン（ 体育科 ）

学年	児童の実態	身に付けさせたい力	授業改善
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に外遊びに行く児童が多いが、体を動かすことに抵抗がある児童もいる。</li> <li>・体力テストの結果では、学年の平均値が全国の平均を下回る種目が多い。特に、男子は上体起こしや20mシャトルラン、ボール投げが大きく下回っている。女子は長座体前屈や20mシャトルラン、立ち幅とびが大きく下回っている。</li> </ul>	友達と楽しく運動する力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の場や規則を工夫し、体を動かすことが楽しいと感じられるようにする。また、遊びを通して、楽しく運動能力を高めていく。</li> <li>・運動が苦手な児童も抵抗がなく楽しめるような活動や場の設定の工夫をする。</li> <li>・友達と一緒に運動する喜びを味わえるような取り組みをする。</li> <li>・準備運動や体ほぐしの運動の際にボールに触れる機会をとるようにする。</li> <li>・活動の場や規則を工夫し、体を動かすことが楽しいと感じられるようにする。また、遊びを通して、楽しく運動能力を高めていく。</li> <li>・運動が苦手な児童も抵抗がなく楽しめるような活動や場の設定の工夫をする。</li> <li>・友達と一緒に運動する喜びを味わえるような取り組みをする。</li> <li>・準備運動や体ほぐしの運動の際にボールに触れる機会や動作をとるようにする。また、動作をできるだけ速く切り換えたり素早く反応したりする運動も取り入れていく。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に外遊びに行く児童が多いが、体を動かすことに抵抗がある児童もいる。</li> <li>・体力テストの結果では、男子も女子も立ち幅跳びと反復横跳びがやや劣る結果だった。</li> </ul>	友達と楽しく運動する力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びやゲームの規則や場の設定の工夫をし、体を動かすことが楽しいと感じられるようにする。</li> <li>・自分と友達や友達同士の動きを比べてみることで、よい動きを見つけることができるように、声かけをし、まねてやってみる。</li> <li>・敏捷性を高めるために、ジグザグ走・号令による前後左右のステップや踏み換えなどの運動を行う。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を好む児童が多く、休み時間には外で運動に親</li> </ul>	友達と声をかけ合う力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則や活動、場の工夫をし、体を動かすことが楽しいと感じられるように</li> </ul>



<p>年</p>	<p>しんでいるが、体を動かすことに抵抗がある児童もいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果では、全国平均とほぼ一緒だが、男子は反復横跳びがやや劣る結果だった。女子は、立ち幅跳びでやや劣る結果だった。</li> </ul>		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と声をかけ合う場面を設定し、アドバイスや教え合いができるように、ポイントを明確にする。</li> </ul>
<p>4年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間になると多くの児童が校庭で運動に親しんでいるが、抵抗のある児童もいる。</li> <li>・体育の授業では、進んで友達に声をかけ励まし合う児童が多いが、どのようなアドバイスをすればよいか分からない児童も多い。</li> <li>・新体力テストでは、男子は立ち合幅跳びとボール投げ、女子は20メートルシャトルランとボール投げの結果が低くなっていた。</li> </ul>	<p>友達と教え合い、楽しく運動する力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの規則や場の工夫を行い、体を動かすことが楽しいと感じられるようにする。</li> <li>・チームで協力して作戦を考えたり、友達のよいところに目を向けさせたりして、友達と仲良く関わられるようにする。</li> <li>・運動の特性や技能面の指導を充実し、ポイントを全体で確認して、アドバイスや教え合いができるようにする。</li> </ul>
<p>5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間になると多くの児童が校庭で運動に親しんでいるが、抵抗のある児童もいる。</li> <li>・体育の授業では、進んで友達に声をかけ励まし合う児童が多く、的確なアドバイスをすることができる児童が多い。</li> <li>・新体力テストでは、男女ともに立ち合幅跳びと20メートルシャトルランの結果が低くなっていた。</li> </ul>	<p>自分の体力を見つめ、日常的に様々な運動に親しもうとする力。</p> <p>友達と教え合い、楽しく運動する力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分やチームの課題を考え、学習カードや振り返りを行い、解決の方法を考える時間を確保する。</li> <li>・チームで協力して作戦を考えたり、友達のよいところに目を向けさせたりして、友達と仲良く関わられるようにする。</li> <li>・運動の特性や技能面の指導を充実し、ポイントを全体で確認して、アドバイスや教え合いができるようにする。</li> </ul>
<p>6</p>	<p>運動技能の個人差が大きく、普段から運動に親しむ</p>	<p>自分の体力を見つめ、日常的に様々な</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分やチームの課題を掴み、学習カードなどを使って解決の方法を考える</li> </ul>

<p>年</p>	<p>児童とそうでない児童との差が更に広がっている。また、個人内での領域別の得意・不得意がはっきりしてきて、各学習に対する意欲にも表れている。友達同士で声をかけ合うが、運動が得意な児童と苦手な児童では、運動の感覚が異なり、アドバイスを生かし切れない場面が多い。</p> <p>体力テストの結果においては20Mシャトルラン、立ち幅跳びの数値が低下している。</p>	<p>運動に親しもうとする力。心の健康、けがの防止及び病気の予防について考え実行する力。</p>	<p>時間を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成功体験を味あわせ、運動の楽しさや挑戦することの意欲を上げる。</li> <li>・仲間とアドバイスし合う時間を確保し、共にできるようになる喜びを味わえるようにする。</li> <li>・保健の授業だけでなく、日常生活の中で健康や安全について考えさせる。</li> <li>・体力アップの運動や跳ぶ跳ねる運動の経験を積ませる。</li> </ul>
----------	---	--	--

## 授業改善プラン（生活科）

学年	児童の実態	身に付けさせたい力	授業改善
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好奇心旺盛で、学校探検などでは様々なことを発見するが、それをカードに表したり、友達の発表を聞いて新たな発見したりすることは難しい児童が多い。</li> <li>・学校、家庭、地域でかかっている様々な人と自分とのかかわりに気付いていない児童も多い。</li> <li>・楽しく活動に取り組むことができるが、継続して自然を大切にしたり、自分たちの遊びを工夫したりすることができる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通して気付いたことや楽しかったことについて、分かりやすく表現し、友達に伝える力。</li> <li>・身近な人々やものとのかかわりに関心をもち、集団の一員として安全で適切な行動をとる力。</li> <li>・継続して自然を大切にしたり、遊びや生活科の仕方を工夫したりする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの際には、活動した様子の写真を提示したり、具体的なアドバイスをしたりして、表現する力を身に付ける。また、友達と楽しく交流できる場を設ける。</li> <li>・人や社会と繰り返しかかわることを通して、それらの特徴や性質に気付かせ、自分のよさや可能性にも気付かせるようにする。</li> <li>・児童の創造的な発想や工夫が活かされるような、活動や場を設定する。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物に興味・関心をもっている児童が多い。野菜を育てたり、昆虫やザリガニをつかまえたりする活動に進んで取り組んでいる。</li> <li>・身近な人や地域とのかかわりに関心をもち、地域のよさに気付いたり、愛着をもったりすることができている児童が多い。かかわりが少ない人に対して関心が薄い児童が多い。</li> <li>・自分が考えたことや感じたことを友達に伝えられるが、具体的な表現ができない児童がいる。また、友達の考えを進んで聞こうとする児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生き物や自然に興味をもって継続的に生き物とのかかわり、命を大切にする力。</li> <li>・自分と身近な人や地域に親しみや愛着をもつとともに、集団や社会の一員として自分の役割に気づき、かかわる力。</li> <li>・気付いたことや考えたことをお互いに伝え合う力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけでなく、児童の生活圏を学習の対象や場にして、直接体験を重視した学習活動を展開する。また、本などの資料を児童の近くに置き、自分で調べられるような環境を整える。</li> <li>・身近な人や地域と繰り返しかかわることにより、地域への愛着を一層深め、そこでの人の思いや願いに気付くことができるようにする。</li> <li>・自然と児童同士の気付きを交流できるような活動や、グループ活動を取り入れ、発表の機会を多く設けるとともに、友達の気付きにも注目がいくような声かえを行っていく。</li> </ul>